

## バグダッド 日誌（1月28日）

### ○多国軍情報部C2勤務

・ コアリションC2勤務には、デイシフトとナイトシフトがある。0700から1900そして1900から0700と昼夜間を徹してコアリション幕僚として情報収集するのだ。幕僚はコアリションの国々から大尉、少佐クラスが勤務しており、国際色豊かな勤務場所だ。

情勢は常に動いており、当然土日もなく下番したら泥のように眠りまた上番するという厳しい任務であるが、その中にもハツとするような新鮮な驚き、そして楽しみを見つかることもできる。

デイとナイトでは、そのメンバーも入れ替わりそれぞれの雰囲気も違うようだ。

私の勤務するナイトシフトでは、デイに比べて議論の好きな軍人が多いようだ。私の隣に座っているマケドニアの少佐は、マケドニア国内反政府ゲリラ掃討では常に第一線で指揮していたという鬼瓦のような怖い顔をした大男だ。しかし、この鬼瓦少佐は顔に似合わず話し好きでもある。少佐のゲリラ掃討における経験談は、実戦ゆえに興味ことが多い。

以下はある日の会話である。

私：遠くで銃声がしたとき、それが訓練のものであるか実戦であるかを判断することはできるか？

鬼瓦少佐： 簡単だ。

私： それは？

鬼瓦少佐： 第1には、緊張感が違う。

私：（噴出しそうになりながら）なるほど。

鬼瓦少佐： 第2には、違う火器の銃声が混じることだ。

この第2は感心した。なるほどそのとおりだ。私たちの中で遠方で銃声がしたとき64小銃と89小銃の違いを何人が識別できるだろうか。ましてこれが外国の武器であつたらお手上げではないだろうか。

鬼瓦少佐の言うことには、銃声から敵が所持する武器を識別するのは、当然のことであるという。

私が、平和な日本からきたゆえに、考えさせられる言葉であつた。

私の隣が、女性であつたらナイトシフトがもっと明るくなるのに、と叶わぬことを思いながら今夜も1900に鬼瓦少佐が待つ職場に向かう。



## バスラLO日々業務報告(1月28日1900)

区 分	内 容
1 警戒態勢	バスラ空港 (警戒態勢) :
2 特記事項	(1) (2)
3 本日の業務	(1) 情報要求対応 SSR (ISFの戦力化の状況)、MND(SE)の将来計画、IED及びIDF関連情報、デモ関連情報等 (2) 定例情報収集 : (3) 定例会議への出席 : 司令部朝会議・夕会議、J2・J3・J9配属統一会議 (4) 空路輸送調整 (5) J4会議代理参加、トランジション会議、節团长表彰等調整
4 明日の予定	(1) 情報要求対応、定例情報収集 (2) 定例会議への出席 (3) トランジション会議等調整
5 その他(備考)	